

[中吐]mFOLFOX6+アービタックス(セツキシマブ)(2コース目以降)療法

外科 管理番号 RSC041

処方医:

適応症:大腸癌

2週間を1クールとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
アービタックス	●							●						
レボホリナート	●													
オキサリプラチン	●													
フルオウラシル(ホーラス)	●													
フルオウラシル(持続)	●	●	●											

アービタックス

Loading Dose

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ クール目)

Day1( 月 日 ~ 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポート開通確認	10mL		
生食100mL デキサート注 [30分 点滴静注]	1瓶 6.6mg		
【内服】ポララミン錠2mg	3錠		
生食100mL [30分 点滴静注]	1瓶		
		生食250mL アービタックス250mg/m <sup>2</sup> [1時間 点滴静注][非炎症] 生食で希釈し最終投与量を250mLとする インフュージョンリアクション注意	適量
		生食100mL [30分 点滴静注] アービタックスと同じ投与速度で	1瓶
5%ブドウ糖 100mL デキサート注 2mL グラニセトロン注3mg [30分 点滴静注]	1瓶 3.3mg 1管		
5%ブドウ糖 500mL レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup> [2時間 点滴静注]	1袋	5%ブドウ糖 250mL オキサリプラチン 85mg/m <sup>2</sup> [2時間 点滴静注][炎症性] レボホリナートの側管より同時に開始 アレルギー症状注意 複数回以上 ほぼ数分以内	1袋
5%ブドウ糖 50mL フルオウラシル注 400mg/m <sup>2</sup> [15分間][炎症性]	1瓶		
生食100mL フルオウラシル注2400mg/m <sup>2</sup> [46時間][炎症性]	フルオウラシルと生食適量を 混合し140mLとする		
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポート開通確認	10mL		

プラミンク

DAY2( 月 日)~3( 月 日)

薬剤名	投与量	
デカドロン錠	8mg	1×朝食後

Day8( 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポート開通確認	10mL		
生食100mL デキサート注 【30分 点滴静注】	1瓶 6.6mg		
【内服】ポララミン錠2mg	3錠		
生食100mL 【30分 点滴静注】	1瓶		
		生食250mL アービタックス250mg/m <sup>2</sup> 【1時間 点滴静注】[非炎症] 生食で希釈し最終投与量を250 mLとする インフュージョンリアクション注意	適量
		生食100mL 【30分 点滴静注】 アービタックスと同じ投与速度で	1瓶
経過観察 【30分】			

【適正使用基準】 アービタックス

1. 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん(大腸がん)と診断されていること
2. 免疫組織化学的にEGFR陽性が確認されていること。
3. アービタックスの成分に対し重篤な過敏症の既往歴がないこと
4. PS(Performance Status)が0～1である
5. 前化学療法が無効であること
6. 間質性肺疾患(胸部レントゲン診断)の合併がないこと
7. 妊娠又は妊娠している可能性のないこと

【適正使用基準】

*1. 口内炎がない	オキサリプラチン
*2. 下痢がない	【今回の投与量】 【累積投与量】
3. TS-1が投与されていないかまたは投与中止後7日以上経っている	_____ mg/body _____ mg/body
*4. 重症感染症またはその疑いがない	
*5. 腸管麻痺・腸閉塞がない	【DLF】 フルオウラシル:
*6. 間質性肺炎または肺線維症がない	白血球減少・口内炎および下痢
*7. 多量の腹水・胸水がない	【DLF】 オキサリプラチン
*8. 黄疸がない	末梢神経障害
*9. 硫酸アタザナビルを投与されていない	
10. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	
*WBC	4000 ≤
Neut	1600 ≤
PLT	15万 ≤
HGB	11.0 ≤
GOT	≤40
GPT	≤35
TBil	≤1.2
BUN	≤20
Cr	≤1.1
Mg	1.7-2.5
K	3.5-5.0
Na	135-146
Ca	8.7-11
P	2.5-4.7

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil(mg/dL)	<5.0	5.0≤
フルオウラシル	100%	中止

[アービタックス]

の発現回数	アービタックスの投与	投与延期後の状態	用量調節
初回発現時	投与延期*	Grade2以下に回復 回復せず	250mg/m <sup>2</sup> で継続 投与中止
2回目の発現時	投与延期*	Grade2以下に回復 回復せず	200mg/m <sup>2</sup> で継続 投与中止
3回目の発現時	投与延期*	Grade2以下に回復 回復せず	150mg/m <sup>2</sup> で継続 投与中止
4回目の発現時	投与中止	—	—

[DLF以外の重大な副作用]

オキサリプラチン

- ・ショック、アナフィラキシー症状 [発疹・そう痒・気管支痙攣・呼吸困難・血圧低下等]
- ・間質性肺炎、肺繊維症 [発熱・咳・呼吸困難等]
- ・骨髄機能抑制 [検査値異常等チェック]
- ・溶血性尿毒症症候群
- ・視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下
- ・血栓塞栓症
- ・心室性不整脈、心筋梗塞 [脈のみだれ・息苦しさ・心電図異常・胸痛]
- ・肝静脈閉塞症

フルオウラシル

- ・脱水症状 [激しい下痢等]
- ・ショック、アナフィラキシー様症状 [発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等]
- ・白質脳症 [歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等]
- ・うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 [疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等]
- ・急性腎不全 [むくみ・尿量低下等]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全 [食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等]
- ・消化管潰瘍 [食欲不振・腹痛・吐血・下血等]
- ・急性膵炎 [腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等]
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等)\* 肝動脈内投与時 [腹痛・発熱・黄疸等]
- ・手足症候群 [手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等]
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)

アービタックス

- ・重度のインフュージョンリアクション[気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックを主症状としたアナフィラキシー症状]
- ・重度の皮膚症状 [ざ瘡様皮疹、皮膚の乾燥、亀裂、続発する炎症性及び感染性の症状(眼瞼炎、口唇炎、蜂巣炎、膿胞等)]
- ・間質性肺炎 [咳・息切れ・呼吸困難・発熱等]